

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	環境ライフスタイル普及小委員会	主 査 名：田中 稲子 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：糸長 浩司
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 環境配慮建築が環境負荷低減を実現するためには、それに相応しいライフスタイルを実践し、「住みこなす」ことが必要である。本小委員会では、それを「環境ライフスタイル」と称し、その実践のための教育体系づくりと広く普及されるための連携構築を目的とする。環境ライフスタイルに関する教材や実践事例を収集するとともに、その成果を学校教育や建築教育、生涯教育などに広く持続的に還元できる仕組みを模索する。 (初年度): ①環境ライフスタイルの普及活動や教育プログラムの事例をまとめ、教材のコンテンツの検討と原稿作成。②環境ライフスタイルに関する実践事例の収集・分析、教育プログラムの開発・評価。 (2 年度): ③初年度①の教材作成の継続と公開。④上記③の教材を用いた建築関係者・学校教育関係者向けのワークショップや講習会の企画・実施、連携構築。⑤環境ライフスタイルに関する実践事例の収集・分析、教育プログラムの評価・開発	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：田中稲子 (横浜国立大学) 幹事：斉藤雅也 (札幌市立大学)、高柳有希 (UR リンケージ) 委員：菅原正則 (宮城教育大学)、高橋達 (東海大学)、宿谷昌則 (東京都市大学)、篠節子 (篠計画工房)、妹尾理子 (香川大学)、谷口新 (大妻女子大学短期学部)、中島裕輔 (工学院大学)、西川竜二 (秋田大学)、平石年弘 (明石工業高等専門学校)、廣瀬和徳 (株教育環境研究所)、村田昌樹 (OMソーラー株)、吉野泰子 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/tkankyo/s1/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 親と子の都市と建築講座 2019「もしも、おうちが「スマート」になったら。」(12/28、たまきさんサロン) の後援 参加者数 18 名 2. 高齢者熱中症予防のための住まい方相談会 (8/26、9/11 参加者はそれぞれ 40 名、12 名)、個別相談会 (9/18、参加者 6 名)、室内熱環境モニタリング (11 戸、8/6～9/26)、伊勢原市・秦野市の 2 つの自治会で実施 3. 6/20「つるがしま市民環境まつり」における小委員会活動報告パネル展示
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 次年度の出版に向けて執筆が開始されており①は計画通り達成している。 2. ②は上記催し物に記載の事例を始め、新たな連携先 (e コラボ@鶴ヶ島市) との環境ライフスタイル普及講座の企画準備を行うなど順調に達成されている。
委員会活動の問題点・課題	出版後の環境ライフスタイル普及のためのセミナー等の企画・開催が次の課題。